

平成30年度 馴鹿 事業報告

施設共通目標の実施

- ・法令を順守し、障害者総合支援法を理解し、法に沿って施設運営を行いました。
- ・健康管理の強化を図るについては、歯科検診結果に基づいて昼食後の歯磨き指導、健康診断の結果により支援員、看護師による個々に細かいケアを行いました。
- ・レクリエーションについては、今年度休日開所を利用し、日頃出来ない施設外の活動を実施し、楽しく過ごすことが出来ました。
アイセल्प、交流館あいの交流については、一部昼食に行くなどしました。
- ・利用者、職員、共に認め合い笑顔の絶えない明るい職場づくりが出来ました。
- ・送迎終了後、毎日ケア会議を行い、日々の利用者の状況を報告検討し、支援員が共通共有情報として把握出来るようになりました。
- ・利用者の体力低下を防ぐために朝礼時の体操、スポーツ大会に向けての練習等、個々の利用者にあった運動を行いました。
- ・地域の皆さんと積極的にふれ合い、日頃の感謝を込めて、観桜会の実施、各種バザーに参加、馴鹿ふれあい感謝祭、感謝の日実施各団体のイベント参加清掃活動、フジE C Oひろばの実施など、積極的に参加し馴鹿の地域社会への認知と社会貢献にも取り組む事が出来ました。
- ・みなら特別支援学校、しげのぶ特別支援学校、東温市社会福祉協議会、各相談員等、連絡を密にし、体験実習を積極的に受け入れ利用者確保に努めています。

アイセल्प 施設別目標の実施

① アイセल्प班

- イ お互いがお互いを認め合い、素直に「ありがとう」と笑顔で言える仲間づくりに努めます。
- ロ 一人一人が「生きる喜び」「生きる価値」「生き甲斐」を感じ、夢や希望を持てるような支援に努めます。
- ハ 休日開所や行事を通して社会性を身につけ、社会人としての自覚が持てるよう支援を行います。

【実施状況】

利用者、職員それぞれが認め合うことによって、認められた喜びを感じ、笑顔で「ありがとう」と返せる事が徐々に出来始めていると思います。また、認められることによって人として生きる喜び、価値、生き甲斐も少しずつですが感じられることが浸透しつつあると思います。

休日開所や行事を通して時間のメリハリやマナーの在り方など少しずつ身について来ていると思います。

② ばっぼ班

- イ 個々の身体機能状態に合わせて日々の健康管理、支援を行います。
- ロ 環境要因に配慮し、状況に合わせて細目な対応に努めます。
- ハ 日中活動や休日開所で、楽しみや経験の場を増やし、充実した時間を過ごせるように支援します。

【実施状況】

個別支援計画で保護者の方と施設での利用者の状況、家庭での状況を確認してそれぞれの利用者にあった計画を立て、支援を行いました。又、体力作りについては、各利用者の健康状態に見合った運動方法を細かく検討しそれに沿った支援を行うことが出来ました。

休日開所や日中活動については、楽しく利用者が積極的に参加出来るような活動を企画し、行うことが出来ました。

トナカイ福祉交流館あい 施設別目標の実施

① 交流館軽食班

- イ) 利用者本人が、朝礼にて当日の個人目標を発表、終礼にて振り返りを行い、成功体験の積み重ねによる労働意欲の向上を目指します。
- ロ) 個別支援計画立案時の短期目標を現状よりも具体化する事で、長期目標に繋げる支援を行います。
- ハ) 接客業務を通じて、日常でのマナーや生活態度を見つめ直し、日常生活における人間力の向上を目指します。

【実施状況】

- イ) 就業に対する認識が、これまでよりも高まってきました。他者へのフォロー等、自主的に行動出来る場合もあり、仕事への取り組み方も良い方向に向かっています。
- ロ) 短期目標については、半年間皿洗いの当番を頑張る等徐々に取り組みられています。
- ハ) お客様の来店時、退店時のあいさつの声が大きくなり、これまでよりも自発的に行う事が出来るようになってきました。駅などの通勤途中におけるマナーも以前に比べると向上しているように思います。

② パソコン班

- イ) 個々の能力によって利用者自身で出来る事は利用者自身が行うよう、これまで以上に見守りの姿勢を持って支援し、残存機能の維持に努めます。
- ロ) 製品販売や企画において利用者も数字を意識する事によって、達成感、労働意欲を高める支援に取り組めます。
- ハ) 医療機関や在宅支援事業所との連携を強め、引き続き日々の健康管理を支援します。

【実施状況】

- イ) 介助が必要な場合と見守りが必要な場合について、利用者と相談しながら適切に実施出来ました。今後も利用者の高齢化に伴い継続的に必要な目標となりますので、引き続き機能維持に係る支援に注力します。
- ロ) 納品時に同行させるなど、バザー販売以外でも自分達で作っている物は商品である意識付けに取り組んでいます。年度末からは内職作業も開始し、作業単価を利用者も認識する切っ掛けづくりになったように感じます。

ハ) 以前に比べると利用者の情報の共有先も増えてきました。相談支援員制度による効果とも言えますが、支援員は利用者の健康面での変化にいち早く気付く力と他所と情報共有、相談をする意識が持てるよう努力します。

③ 茶房あい

- イ) 利用者個々の特性を活かした役割分担を決め達成感や責任を与える事で、より楽しく働ける環境創りに努めます。
- ロ) 交流サロン事業としての企画や運営を実施する事で、利用者の社会性を高める支援を行います。
- ハ) 接客が集中する時間以外を利用した内職や授産製品の製作に取り組み、売上の向上を目指します。

【実施状況】

- イ) 当番制による担当作業のローテーションはあるものの、それぞれの得意分野においてはある程度任せられるレベルになってきているように思います。
- ロ) 現在のところ客層は、固定客が中心となっていますが、徐々に近隣からも来店して頂けるケースも増えてきました。挨拶などの基本的な部分での社会性の向上は出来ています。
- ハ) 繁忙時以外の業務については未だ不十分ですが、おもてなしカードの作成や健康管理の取り組みとしてストレッチ運動や体力づくりの体操等、時間を有効に使った支援の提供が出来ました。

④ パン工房あい

- イ) 人員の変更に伴い、より効率の良い納品スケジュールの検討を行い、収益性の向上と配達時間の短縮化に取り組みます。
- ロ) 利用者の特性に合わせた役割分担において責任を持たせ、これまで以上に達成感や労働意欲の向上に努めます。
- ハ) 引き続き利用者個々の作業量、障害特性などに留意し、無理のない作業を目指します。

【実施状況】

- イ) 製品作成及び配達時間等効率化が図られた。
- ロ) 得意分野においては、十分に戦力になる仕事への取り組みが出来るようになってきています。仕事に行くのが楽しいと感じてもらっています。
- ハ) 授産施設として非常に良い形で運営出来ています。引き続き受注管理と納品スケジュール、健康管理に注意しつつ無理のない楽しい職場づくりを継続致します。